

第3回 地域運営推進会議報告書

【開催日時】 令和6年4月26日(金) 10:00~11:15

【開催場所】 REHAP 神領

【出席者】

地域住民代表者 : 民生委員 A 様
知見を有する者 : 民生委員 B 様
行政関係者 : 地域包括支援センター C 様
当事業所職員 : 管理者兼機能訓練指導員 佐藤岬、介護職員兼生活相談員 福島
ご家族様 : D 様出席
ご利用者様 : E 様出席

【司会】 佐藤岬

【発表者】 佐藤岬

1. 自己紹介

2. 運営推進会議の目的

平成28年、介護保険法改正に伴い、地域密着型サービスにて事業所運営の透明性の確保や、サービスの質向上を目的に、運営推進会議を設置する事が義務づけられました。REHAP 神領（当事業所）においては、当事業所の取り組みを発信することに加え、地域住民、関係者の皆様のご意見を伺い、交流を深めることで、より地域に開かれたサービスの運営を目指すことを目指して運営推進会議を実施します。運営推進会議を通じて、さまざまな立場の方々の違った視点からご意見やご助言を得ることで、これまで自分たちでは、気が付かなかった事業所の課題やサービスの改善・向上のためのヒントが見つかり、事業所(従業員)の能力を高めるきっかけづくりにもつなげていきたいと考えております。

3. 沿革・方針

当施設は、東海記念病院が母体の地域密着型通所介護サービスとして2023年1月16日に開所しました。

「安心と喜びを感じていただける地域医療を提供します」の病院理念のもと、利用者様、ご家族様、サービス関係者様が安心して利用でき、喜びを感じていただけるようなサービスを目指しております。小規模だからこそ皆様と密接にかかわることができ、個々に合わせたきめ細やかなサービス提供ができると考えております。また、理学療法士、作業療法士、介護福祉士、看護師などの専門職が常駐しており、加えて定期的に管理栄養士も来所する為、ご病気や障害をお持ちの方にも安全に運動の実施をしていただけることや、健康や栄養に関する相談を行うことが出来ます。また、東海記念病院との連携も充実しております。

4. 業務内容

～運営内容～

- <定員> 午前と午後の2部制であり、午前と午後各18名までの地域密着型通所介護施設です。
- <職員> 管理者(作業療法士)、生活相談員、看護師、理学療法士、介護職員、管理栄養士(定期的に来所)
- <範囲> 要介護認定(要介護1～5)を受けた方への地域密着型通所介護。
要支援(要支援1、2)、事業対象者の方への介護予防・日常生活支援総合事業
- <曜日> 月～金曜日(祝日は営業：年末年始は除く)
- <時間> 営業時間：8：15～17：00 提供時間：AM 9：00～12：10、PM 13：10～16：20

～サービス提供内容～

別紙参照

～業務内容～

- <送迎> 朝と昼と夕方に送迎を行っています。歩行器など歩行補助具を使用している方も送迎可能です。
- <機能訓練・介護>
機能訓練(マシントレーニング、自転車エルゴメーター、レッドコードなど)、レクリエーション。
移動やトイレなどに介助が必要な方はお手伝い致します。
看護師による体調管理、その他日常生活援助。
※食事や入浴はありません。

5. ご利用様内訳(令和6年4月)

事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
11	38	22	20	15	5	4	0

- ・登録利用者数 計：115名
- ・男女比内訳：男性48名、女性67名
- ・休止中：3名(入院、体調不良、忙しいなど)
- ・利用者延べ数：581名(令和6年3月)

6. 運営指導について

2023年10月17日に実施しました。

7. 活動報告

- 2月 消防・避難訓練
- 4月 運営推進会議
- 5月 消防設備点検

8. 感染対策

【感染症対策】

- ・職員・ご利用者様のマスク着用
- ・職員・ご利用者様の体調確認と発熱時や風邪症状がある際は出勤・ご利用をご遠慮して頂く。
- ・物品の小まめな消毒

9. インシデント・事故報告(2023年11月～2024年4月現時点まで)

事故報告：6件

■内容：転倒：6件（内：5件は怪我や有害事象なし。1件は右小指に切り傷を生じ、絆創膏での保護などの処置を生じた）

■転倒に対するの対策

- ・環境調整

前年にトイレで転倒した事例があり、トイレ内の手すりを増加した。（今年実施した。）

① 敷地内のゴミや落ち葉を清掃するように努める。

- ・スタッフの対応

- ② 屋外歩行中に転倒しないよう見守りを強化する。敷地内のゴミや落ち葉を清掃するように努める。
- ③ 眠りそうになっているご利用者様や眠っているご利用者様がいたら、声掛けし起床を促すか、ベッドなどの安全な場所に移動を促す。
- ④ 移動時に転倒リスクが高いご利用者様にはご自宅の中で送迎車が到着するまで待機して頂き、送迎スタッフが到着してから一緒に玄関から送迎車まで移動する。
- ⑤ 転倒リスクの高いご利用者様が着座する際には椅子の位置をしっかりと確認し、ゆっくり着座して頂くように声掛けや介助を行う。
- ⑥ 運動時には椅子と椅子の間隔が近くになりすぎないように配置をする。椅子ごと移動する際は一度しっかりと立ち上がってから移動するように声掛けする。
- ⑦ 転倒リスクの高いご利用者様であったため、お一人で移動しないように声掛けをする。しかし、自身で介助の助けを呼べないご利用者様の場合には、ご家族様にご利用者様が介助時に声掛けができず、転倒リスクが高いことをお伝えし、ご利用者様が移動しようとした際にすぐに介助できるよう努める。

インシデント：0件

10. 地域連携の取り組み

- ・今後、REHAP 神領の運動機器を地域の方にご利用いただけるよう一般開放を目指しております。実施時期：準備ができ次第実施予定。

議題

1. 当事業所をご利用して頂き、良かった点や改善点。（例：運動内容：運動の楽・きつい、楽しい・

飽きたなど、スタッフの接客についてなど)

2. 地域に当事業所がある事で良かった点や改善点。

11. ご要望、ご助言

当事業所職員：5月下旬から6月頃の準備が出来次第、REHAP 神領の運動機器を地域の方にご利用いただけるよう、無料での一般開放を目指しております。16:30～17:00 の30分予約制、1日5人18歳以上の方を対象に行いたいと思っています。

民生委員 A 様：前年度の運営推進会議でお願いしていたので実現して嬉しいです。無料だという所も魅力的です。

民生委員 B 様：18歳以上となると若い人が多く来にくいといったご高齢の方もみえるのでは。また無料といった事でも不安があります。怪我の面も心配です。

当事業所職員：今回はあくまで、ご自身で機器のご利用が完結できる方に限っています。運動機器の使い方は最初にお伝えします。今回はご高齢の方に限らず、18歳以上の方を対象としている背景は、ご高齢の方と同居しているご家族さまにも REHAP を知ってもらいたいという思いもあります。

地域包括支援センター C 様：REHAP で去年地域の方を対象とした栄養士さんの講話を行われましたがその講話で REHAP を知ったという方も沢山みえたのでこの様な取り組みはとてもいい事だと思います。

D 様：1年通って周りの人に元気になったと言われて嬉しい。REHAP に来ると帰りには体が楽になる。REHAP に通われている近所の方もとても楽しいと言ってみえました。スタッフも良い人ばかりです。

E 様：今後他のご利用者様にも運営推進会議に参加してもらい、色々な意見をもらっていくとより良くなると思います。

当事業所職員：貴重なご意見ありがとうございます。こちらの意見を参考に試行していきたいと思えます。

【まとめ】今回、開所して3回目の開催となりました。現在の地域の活動状況や REHAP が地域の為にもどのように関わりを持てるかなど具体的な内容を話し合う事ができました。今後も、ご意見をいただき、微力ながらも地域の方々へのニーズやご要望に応えられるよう尽力して参ります。

12. 次回の開催について

半年後の2024年10月ごろを予定しております。皆様のご都合をお聞きし決めたいと思います。議題、テーマがございましたら随時ご連絡ください。